

# KAOSSILATOR PRO Editor

## 取扱説明書

### 目次

はじめに.....	2
インストール.....	4
クイック・スタート.....	5
KAOSSILATOR PRO Editorの画面と機能.....	7
全ページ共通.....	7
ループ・レコーダー・データ・エディット・ページ.....	8
プログラム・メモリー・エディット・ページ.....	11
グローバル・データ・エディット・ページ.....	13
エクスターナル・コントロール・パラメーター.....	17
ファイルの種類と内容.....	21
環境設定.....	22
メニュー.....	23
トラブル・シューティング.....	25

- MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- Apple および Mac ならびに Mac OS は Apple Inc. の登録商標です。
- Windows XP および Windows Vista ならびに Windows 7 は Microsoft Corporation の登録商標です。
- すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- 製品の仕様や外観は、予告なく変更することがあります。

### 著作権について

著作権者から許諾を得ていない著作物を、個人、家庭内、またはその他のこれに準ずる限られた範囲以外で使用した場合、著作権侵害となり、損害賠償を含む補償を負う場合があります。そのような著作物を録音したものはもちろん、著作物に手を加えて作られたものにも、著作権者の権利が含まれていますので、これら成果物の転載、配信などは、著作権侵害となります。著作権侵害によって発生した損害賠償などは、当社は一切の責任を負いかねます。使用者自身の権利について不明確なときは、法律の専門家に相談してください。

㉔ ㉕

# はじめに

このたびは、コルグ・ダイナミック・フレーズ・シンセサイザー/ループ・レコーダーKAOSSILATOR PROをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

## KAOSSILATOR PRO Editor とは？

KAOSSILATOR PRO Editor は、KAOSSILATOR PRO に保存したデータをコンピューターに保存したり、パラメーター設定を編集することができます。また、コンピューターに保存した WAV フォーマットや AIFF フォーマットのオーディオ・ファイルを KAOSSILATOR PRO に読み込むこともできます。



## 使用上の注意

- ⚠ KAOSSILATOR PRO Editor 起動中は、KAOSSILATOR PRO の接続を解除したり電源をオフにしないでください。
- ⚠ データの転送中は、KAOSSILATOR PRO および KAOSSILATOR PRO Editor を操作しないでください。また、データの転送中にエラー・メッセージが表示された場合には、MIDI ドライバとの接続状態を確認してください。

## 動作環境

### Mac OS X

対応コンピューター	Mac OS X の動作環境を満たす USB ポートを搭載した Intel、または Power PC プロセッサの Apple Macintosh
対応 OS	Mac OS X 10.4 以降
オーディオ・インターフェース	44.1kHz および 48kHz で出力可能なオーディオ・インターフェース

### Windows

対応コンピューター	Microsoft Windows XP/Vista/7 の動作環境を満たす USB ポート搭載のコンピューター
対応 OS	Windows XP (SP3 以降)、Windows Vista (SP2 以降 32bit/64bit)、または Windows 7 (32bit/64bit)
オーディオ・インターフェース	44.1kHz および 48kHz で出力可能なオーディオ・インターフェース

-  本製品は、上記の動作環境を満たす標準的なコンピューターで動作を確認しています。ただし、この動作環境を満たすすべてのコンピューターでの動作を保証するものではありません。

---

# インストール

---

-  KAOSSILATOR PRO Editorを使用するときは、事前にKORG USB-MIDIドライバのインストールが必要です。コルグ・ホームページよりKORG USB-MIDIドライバをダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(http://www.korg.co.jp)

## Mac OS X へのインストール

Mac OS X へのインストールは以下の手順で行います。

1. 「KAOSSILATOR PRO Editor.pkg」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。インストーラーの画面が表示されます。
2. 画面の指示に従ってインストールしてください。

## Windows へのインストール

Windows へのインストールは以下の手順で行います。

1. 「Setup\_J.exe」をダブルクリックして、インストーラーを起動します。インストーラーの画面が表示されます。
2. 画面の指示に従ってインストールしてください。

# クイック・スタート

## KAOSSILATOR PRO の設定

KAOSSILATOR PRO Editor を使用するときは、以下の手順で KAOSSILATOR PRO の設定を確認してください。

1. SHIFT ボタンを押しながら、PROGRAM MEMORY 4(MIDI)を押します。
2. PROGRAM/BPM ノブで“FiLr”を選択し、PROGRAM/BPM ノブを押します。
3. PROGRAM/BPM ノブで“SYS.E”を選択し、PROGRAM/BPM ノブを押します。
4. PROGRAM/BPM ノブで“EnA”に設定されているか確認します。“diS”に設定されている場合は、PROGRAM/BPM ノブで“EnA”に設定してください。
5. WRITE ボタンを押して設定を記憶します。

## KAOSSILATOR PRO Editor を起動

 KAOSSILATOR PRO Editor を使用するときは、事前に KORG USB-MIDI ドライバのインストールが必要です。コルグ・ホームページより KORG USB-MIDI ドライバをダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(http://www.korg.co.jp)

1. USB ケーブルでコンピューターと KAOSSILATOR PRO を接続します。
2. KAOSSILATOR PRO の電源をオンにします。
3. 「KORG」-「KAOSSILATOR PRO」フォルダの中の「KAOSSILATOR PRO Editor」を起動します。  
Mac OS X 「KORG」フォルダは、「アプリケーション」フォルダの中にあります。  
Windows 「KORG」フォルダは、タスクバーの「スタート」-「すべてのプログラム」の中にあります。

## KAOSSILATOR PRO Editor の設定

KAOSSILATOR PRO Editor で KAOSSILATOR PRO と通信するために、以下の手順で MIDI ポートの設定を確認してください。

1. メニューから「MIDI」-「環境設定...」(Mac: アプリケーション・メニューから「環境設定...」)を選択します。設定ダイアログが開きます。
2. “MIDI ポート”内の“ポートを自動検出”にチェックが入っていることを確認します。チェックが入っていない場合は、クリックしてチェックを入れます。  
**note** 複数の KAOSSILATOR PRO を接続している場合は、“ポートを自動検出”のチェックを外し、設定したい KAOSSILATOR PRO が接続されている MIDI ポートを指定します。
3. [OK]ボタンをクリックして設定ダイアログを閉じます。

## KAOSSILATOR PRO からのオール・データの読み込み

KAOSSILATOR PRO Editor でデータを編集するために、KAOSSILATOR PRO のオール・データを KAOSSILATOR PRO Editor に読み込んでみましょう。

1. 「MIDI」メニューから「全データを受信」を選択します。
2. KAOSSILATOR PRO のすべてのデータが KAOSSILATOR PRO Editor に読み込まれます。

-  データの転送中は KAOSSILATOR PRO、および KAOSSILATOR PRO Editor を操作しないでください。

## WAV ファイル、AIFF ファイルの読み込み

コンピューターに保存してある WAV ファイル、AIFF ファイルを、KAOSSILATOR PRO が扱えるループ・レコーダー・データに変換して読み込んでみましょう。

1. ループ・レコーダー・データ・エディット・ページを表示します。
2. 読み込みたいバンクを選択し、[IMPORT]ボタンをクリックします。ファイル選択ダイアログが表示されます。
3. WAV ファイルか AIFF ファイルを選択し、[開く]をクリックします。
4. “Phrase Length”に、フレーズが何拍分のフレーズかを設定します。
5. プレビュー・ボタンをクリックしてフレーズを再生し、フレーズにあわせて[TAP]ボタンを数回クリックします。サンプルの“Original BPM”が設定されます。  
うまく“Original BPM”が設定されない場合は、プレビュー再生とループ・レコーダー・データ波形表示を参考に“Original BPM”を微調整してください。

**note** 読み込み可能な WAV、AIFF ファイルは 44.1/48kHz、8/16/24bit リニア PCM の Mono/Stereo 形式です。

**note** QuickTime 7 以降がインストールされている場合は、MP3 ファイルも読み込むことができます。

## オール・データの KAOSSILATOR PRO への送信

KAOSSILATOR PRO Editor で編集した内容を KAOSSILATOR PRO に反映させるには、KAOSSILATOR PRO にデータを送信する必要があります。KAOSSILATOR PRO Editor で編集した内容を、KAOSSILATOR PRO に送信しましょう。

1. 「MIDI」メニューから「全データを送信」を選択します。
2. 送信の確認ダイアログが表示されるので、[はい]ボタンをクリックします。  
KAOSSILATOR PRO Editor の内容が、KAOSSILATOR PRO に反映されます。

 データの転送中は KAOSSILATOR PRO、および KAOSSILATOR PRO Editor を操作しないでください。

 送信したループ・レコーダー・データは、KAOSSILATOR PRO で保存をせずに電源をオフにすると消えてしまいます。送信した内容を残しておきたいときは、KAOSSILATOR PRO 本体を操作してループ・レコーダー・データを SD カードに保存してください。

# KAOSSILATOR PRO Editor の画面と機能

ここでは簡単に KAOSSILATOR PRO Editor の各画面の機能を説明します。  
パラメーターの詳細は、本体に付属の取扱説明書を参照してください。

## 全ページ共通

[OPEN] ボタン [SAVE] ボタン [RECEIVE] ボタン [TRANSMIT] ボタン



ページ・セレクト・タブ

### [OPEN]ボタン

KAOSSILATOR PRO オール・データ・ファイルを開きます。

### [SAVE]ボタン

編集中的数据を、KAOSSILATOR PRO オール・データ・ファイルとして保存します。

### [RECEIVE]ボタン

KAOSSILATOR PRO から全データを受信します。

### [TRANSMIT]ボタン

編集中的数据を KAOSSILATOR PRO に送信します。

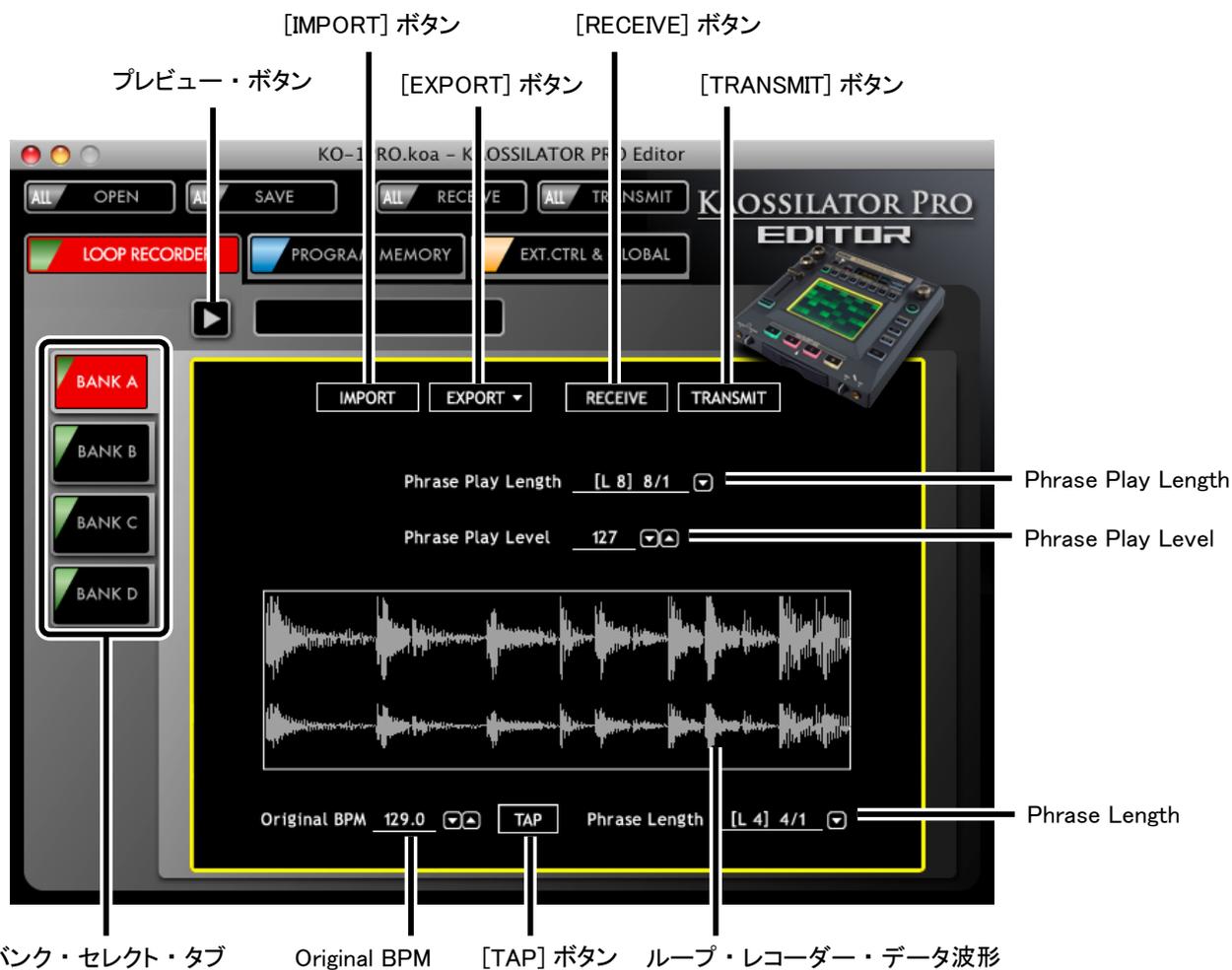
- 送信したループ・レコーダー・データは、KAOSSILATOR PRO で保存をせずに電源をオフにすると消えてしまいます。送信した内容を残しておきたいときは、KAOSSILATOR PRO 本体を操作してループ・レコーダー・データを SD カードに保存してください。

### ページ・セレクト・タブ

表示するエディット・ページを選択します。

# ループ・レコーダー・データ・エディット・ページ

ループ・レコーダー・データを表示・編集します。



## バンク・セレクト・タブ

設定するバンクを選択します。

タブをドラッグ & ドロップするとループ・レコーダー・データを入れ替えることができます。Ctrl (Mac: option) キーを押しながらドラッグ & ドロップするとループ・レコーダー・データをコピーすることができます。

## プレビュー・ボタン

選択しているバンクをプレビュー再生します。

**note** プレビュー再生では、音程や音量などのパラメーターは反映されません。

## [IMPORT]ボタン

コンピューターに保存されているKAOSSILATOR PROループ・レコーダー・データ・ファイルやWAVファイル、AIFFファイルを選択しているバンクに読み込みます。(→P.6「WAVファイル、AIFFファイルの読み込み」)

## **[EXPORT]ボタン**

選択しているバンクのループ・レコーダー・データを、コンピューターに保存します。保存できるフォーマットは KAOSSILATOR PRO ループ・レコーダー・データ・ファイル、WAV ファイル、AIFF ファイルの 3 種類です。

## **[RECEIVE]ボタン**

選択しているバンクを、KAOSSILATOR PRO 本体から受信します。

## **[TRANSMIT]ボタン**

選択しているバンクを、KAOSSILATOR PRO 本体に送信します。

- 🔊 送信したループ・レコーダー・データは、KAOSSILATOR PRO で保存をせずに電源をオフにすると消えてしまいます。送信した内容を残しておきたいときは、KAOSSILATOR PRO 本体を操作してループ・レコーダー・データを SD カードに保存してください。

## **Phrase Play Length**

ループ・レコーダー・データの再生範囲を設定します。  
(→P.10 「Phrase Length、Phrase Play Lengthについて」)

## **Phrase Play Level**

フレーズの再生音量を設定します。

## **Original BPM**

フレーズの BPM を設定します。

## **[TAP]ボタン**

ボタンを数回押すと、押した間隔によって Original BPM が設定されます。

## **Phrase Length**

ループ・レコーダー・データの長さを設定します。(→P.10 「Phrase Length、Phrase Play Lengthについて」)

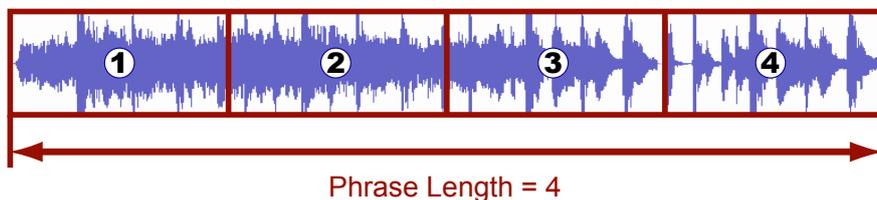
## **ループ・レコーダー・データ波形表示**

選択しているバンクのループ・レコーダー・データ波形を表示します。

# Phrase Length、Phrase Play Length について

## Phrase Length

録音データの長さです。四分音符の数で設定します。



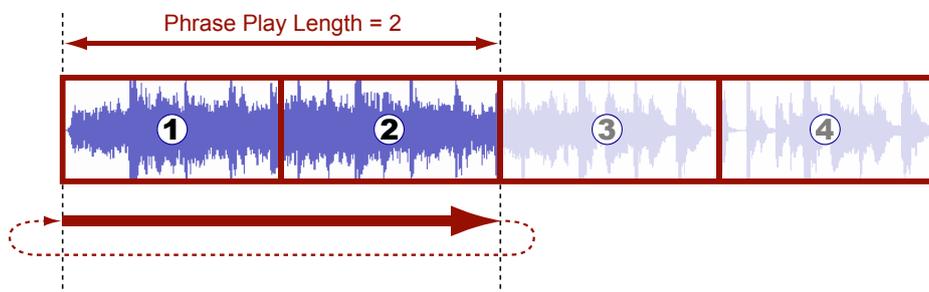
例えば、このような 1 小節 (4 拍) 分のループ・レコーダー・データの場合、Phrase Length は 4 となります。

- note** KAOSSILATOR PRO で作成したループ・レコーダー・データは、録音時に Original BPM と Phrase Length が設定されます。
- !** WAV ファイル、AIFF ファイルから音声データを取り込んだ場合、Original BPM と Phrase Length を設定する必要があります。

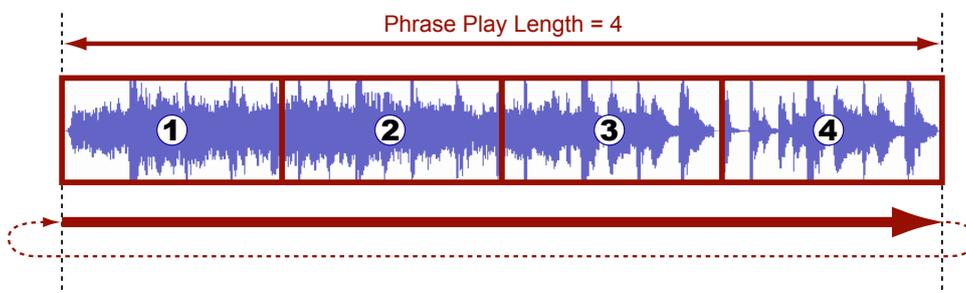
## Phrase Play Length

録音データの再生範囲です。四分音符の数で設定します。再生範囲はデータの先頭から指定した四分音符の数となります。

例えば、Phrase Length が 4 のループ・レコーダー・データを Phrase Play Length を 2 に設定した場合、前半の 2 拍が繰り返し再生されます。



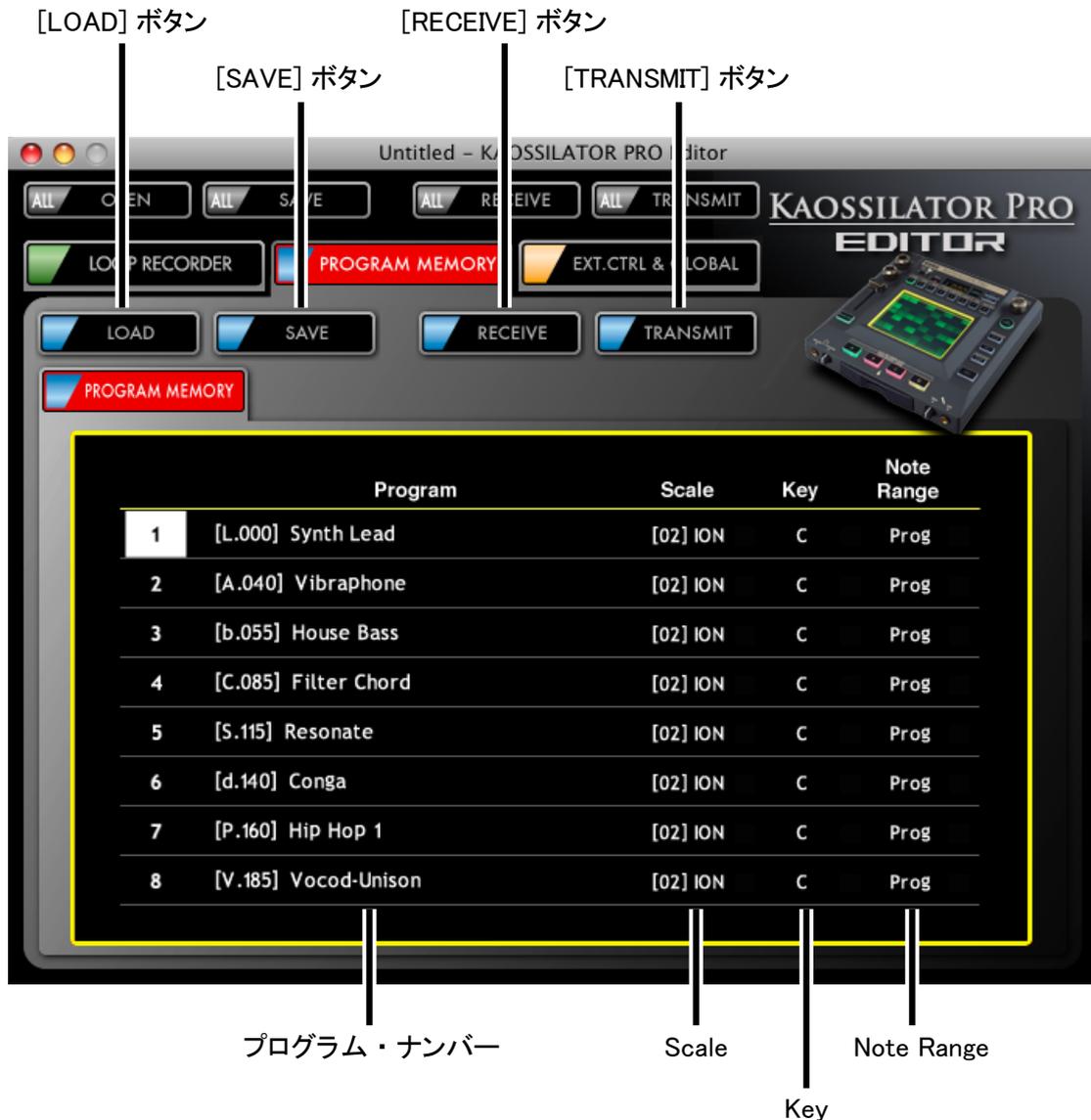
後半の 2 拍は再生されませんが、データ自体は保持されていますので、Phrase Play Length を 2 から 4 に変更すると、後半の 2 拍についても再生されるようになります。



- !** Phrase Length より Phrase Play Length を短く設定したループ・レコーダー・データを本体へ転送し、そのデータに対して、本体で重ね録りを行なった場合、再生範囲外のデータは削除され、Phrase Length が現在の Phrase Play Length と同じ値に再設定されます。

# プログラム・メモリー・エディット・ページ

プログラム・メモリー・セットを表示・編集します。



## [LOAD]ボタン

KAOSSILATOR PRO プログラム・メモリー・セット・ファイルを読み込みます。

## [SAVE]ボタン

プログラム・メモリー・セットを KAOSSILATOR PRO プログラム・メモリー・セット・ファイルに保存します。

## [RECEIVE]ボタン

KAOSSILATOR PRO 本体からプログラム・メモリー・セットを受信します。

## **[TRANSMIT]ボタン**

KAOSSILATOR PRO 本体へプログラム・メモリー・セットを送信して記憶します。

## **プログラム・ナンバー**

PROGRAM MEMORY 1~8 のプログラム・ナンバーを設定します。

プログラム・ナンバー左側の数字をドラッグ & ドロップするとプログラム・メモリー・データの入れ替えが、Ctrl (Mac: option) キーを押しながらドラッグ & ドロップするとプログラム・メモリー・データのコピーができます。

## **Scale**

PROGRAM MEMORY 1~8 のスケールを設定します。

-  KAOSSILATOR PRO のファンクション設定で、[6] UTILITY の“PrLd”が“PrNo.”に設定されている場合、PROGRAM MEMORY 1~8 ボタンを押してもスケールの設定はロードされません。

## **Key**

PROGRAM MEMORY 1~8 のキーを設定します。

-  KAOSSILATOR PRO のファンクション設定で、[6] UTILITY の“PrLd”が“PrNo.”に設定されている場合、PROGRAM MEMORY 1~8 ボタンを押してもキーの設定はロードされません。

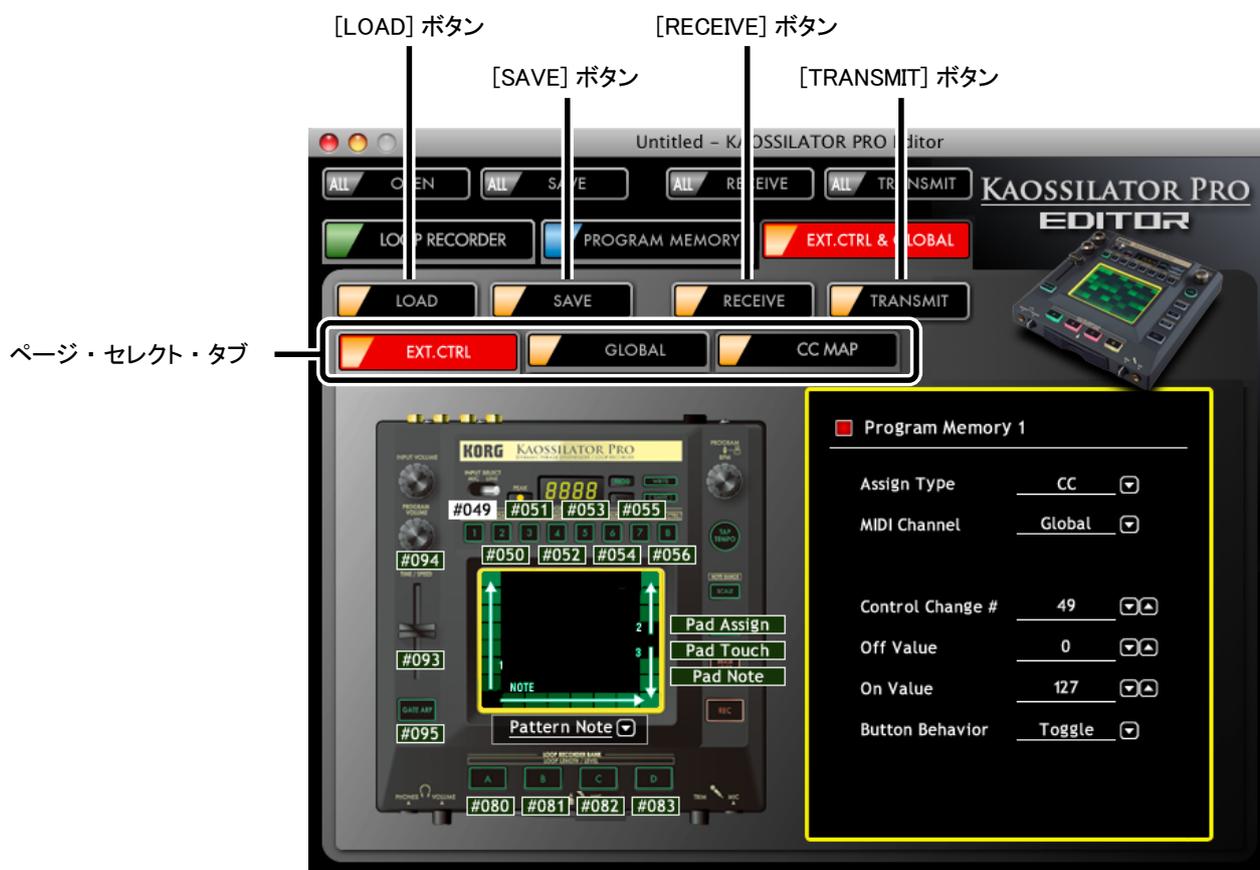
## **Note Range**

PROGRAM MEMORY 1~8 のノート・レンジを設定します。

-  KAOSSILATOR PRO のファンクション設定で、[6] UTILITY の“PrLd”が“PrNo.”に設定されている場合、PROGRAM MEMORY 1~8 ボタンを押してもノート・レンジの設定はロードされません。

# グローバル・データ・エディット・ページ

グローバル・データを表示・編集します。



## [LOAD]ボタン

KAOSSILATOR PRO グローバル・データ・ファイルを読み込みます。

## [SAVE]ボタン

グローバル・データを KAOSSILATOR PRO グローバル・データ・ファイルに保存します。

## [RECEIVE]ボタン

KAOSSILATOR PRO 本体からグローバル・データを受信します。

## [TRANSMIT]ボタン

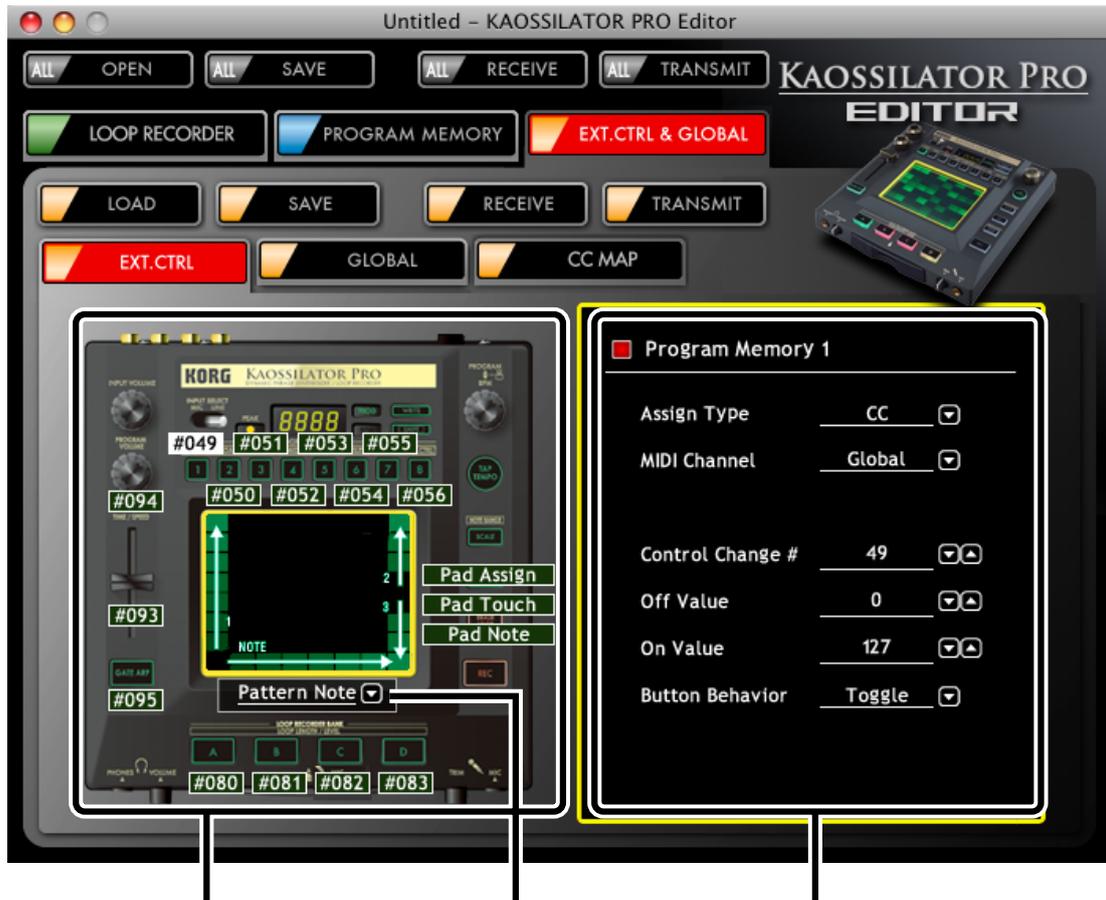
KAOSSILATOR PRO 本体へグローバル・データを送信して記憶します。

## ページ・セレクト・タブ

表示するグローバル・エディット・ページを選択します。

# エクスターナル・コントロール・エディット・ページ

エクスターナル・コントロール・パラメーターを表示・編集します。



コントローラー・セレクト

タッチ・パッド・パターン

コントローラー・パラメーター

## コントローラー・セレクト

設定するコントローラーを選択します。

## タッチ・パッド・パターン

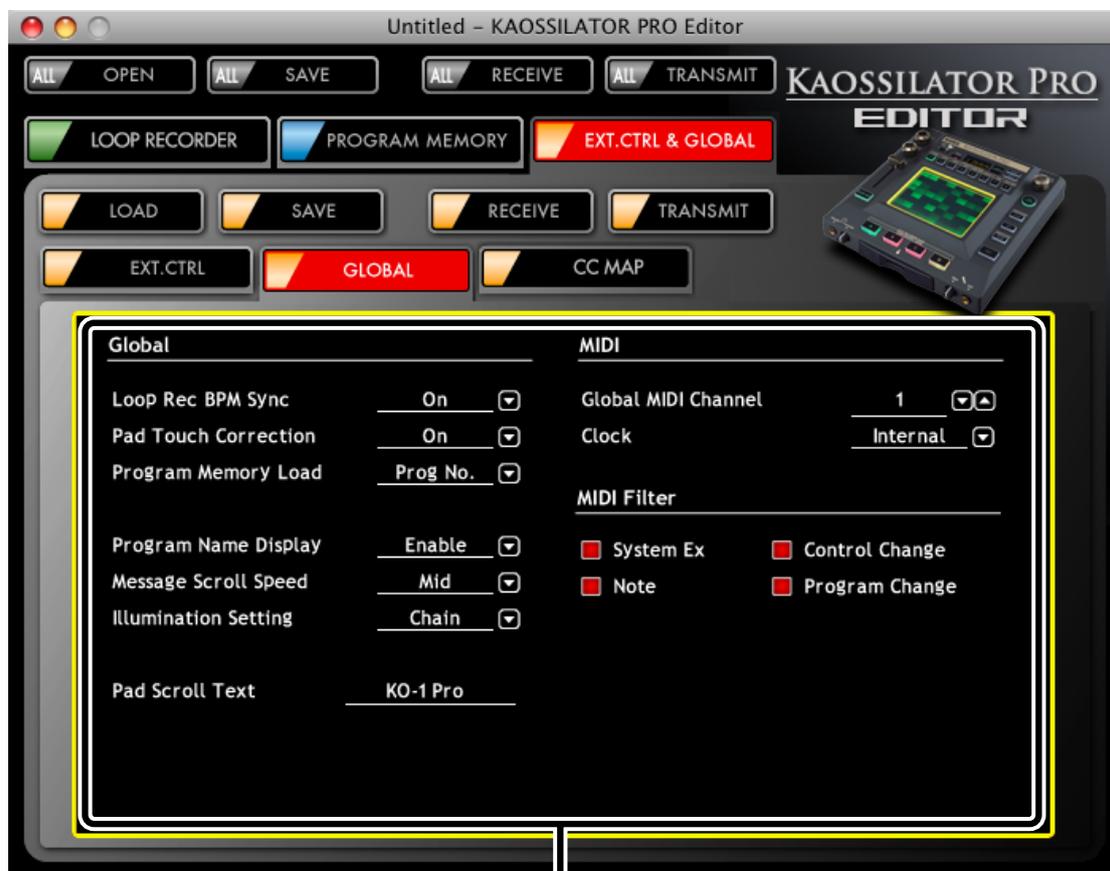
タッチ・パッドのパターンを選択します。

## コントローラー・パラメーター

選択したコントローラーの設定を表示・編集します。パラメーターの詳細についてはP.19「エクスターナル・コントロール・パラメーター」を参照してください。

## グローバル・エディット・ページ

グローバル・パラメーターを表示・編集します。



グローバル・パラメーター

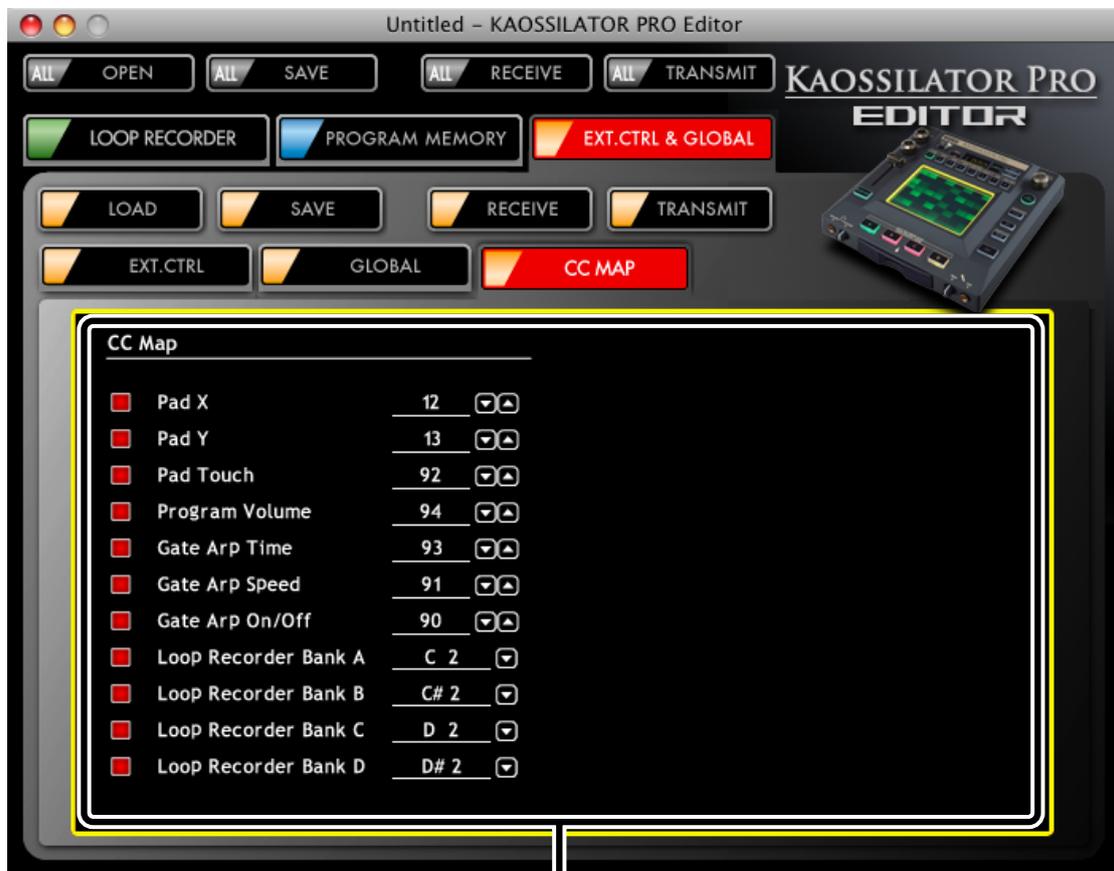
### グローバル・パラメーター

各パラメーターを表示・編集します。

各パラメーターの詳細については、取扱説明書を参照してください。

## コントロール・チェンジ・マップ・エディット・ページ

コントロール・チェンジ・マップを表示・編集します。



コントロール・チェンジ・マップ・パラメーター

### コントロール・チェンジ・マップ・パラメーター

各パラメーターを表示・編集します。

各パラメーターの詳細については、取扱説明書を参照してください。

# エクスターナル・コントロール・パラメーター

## MIDI チャンネルについて

MIDI メッセージを送信する MIDI チャンネルを、コントローラーごとに設定できます。

1~16 に設定した場合は、設定した MIDI チャンネルに MIDI メッセージを送信します。

“Global”に設定した場合は、グローバル・パラメーターで設定されている Global MIDI Channel で MIDI メッセージを送信します。

## タッチ・パッドを使ったノート・メッセージ送信

タッチ・パッド・パターンを“Pattern Note”に設定すると、タッチ・パッド操作でノート・メッセージを送信します。内蔵プログラム演奏時と同様に、外部 MIDI 機器を演奏することが可能です。

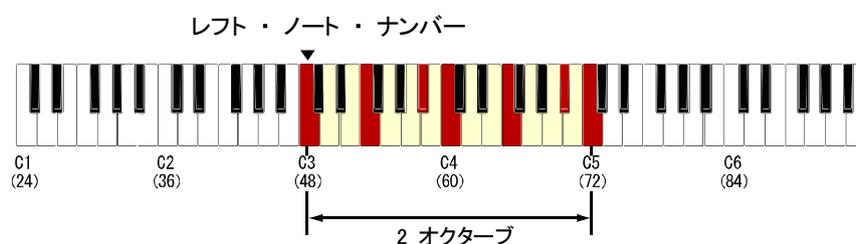
**note** 内蔵プログラム演奏時と同様に、エクスターナル・コントロール・モードでもスケール、キー、ノート・レンジを設定できます。

## スケールを“oFF”以外に設定した場合

設定したスケールに沿ってノート・メッセージを送信します。

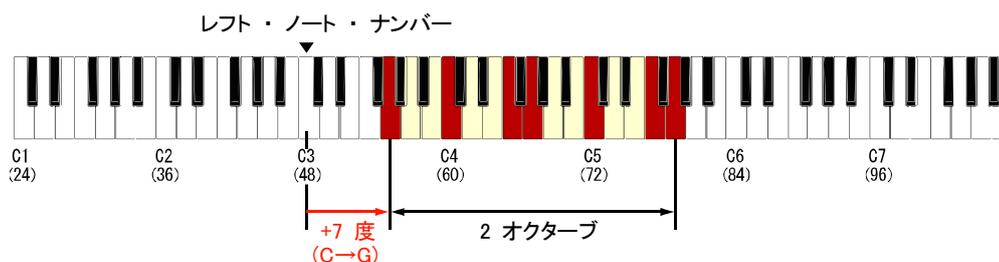
レフト・ノート・ナンバーに設定したノートから、ノート・レンジに設定した範囲で送信します。

レフト・ノート・ナンバーを “C3”、 ノート・レンジを “2oct”、  
キーを “C”、 スケールを “4th” に設定した場合



**!** キーを“C”以外に設定した場合、“C”に設定した場合を基準として、設定したキーに応じて送信するノート・ナンバーが移動します。

レフト・ノート・ナンバーを “C3”、 ノート・レンジを “2oct”、  
キーを “G”、 スケールを “4th” に設定した場合



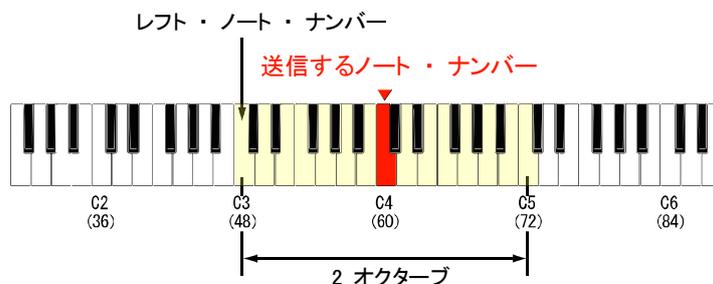
## スケールを“oFF”に設定した場合

ノート・メッセージとピッチベンド・メッセージを送信します。

タッチ・パッドの中央から、右に行くとピッチが高くなり、左に行くとピッチが低くなります。

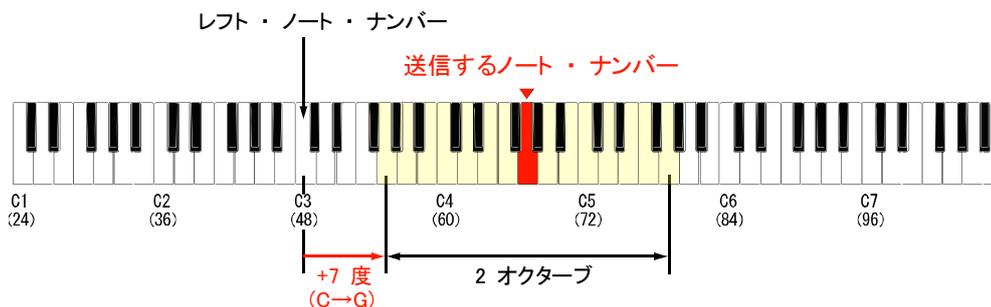
キーを“C”に設定したときに、レフト・ノート・ナンバーに設定したノートからノート・レンジに設定した範囲内で、中央のノート・ナンバーを送信します。

レフト・ノート・ナンバーを“C3”、  
ノート・レンジを“2oct”に設定した場合



- キーを“C”以外に設定した場合、“C”に設定した場合を基準として、設定したキーに応じて送信するノート・ナンバーが移動します。

レフト・ノート・ナンバーを“C3”、ノート・レンジを“2oct”、  
キーを“G”に設定した場合



## エクスターナル・コントロール・パラメーター

PROGRAM MEMORY 1~8 / LOOP REC BANK A~D / GATE ARP On/Off / Pad Touch	<b>On/Off</b>	メッセージ送信のオン・オフを設定します。
	<b>Assign Type</b> [CC/Note/Start/ Continue/Stop]	送信するメッセージを設定します。 <b>CC</b> コントロール・チェンジ・メッセージを送信します。 <b>Note</b> ノート・メッセージを送信します。 <b>Start</b> システム・リアルタイム・メッセージのスタート・メッセージを送信します。 <b>Continue</b> システム・リアルタイム・メッセージのコンティニュー・メッセージを送信します。 <b>Stop</b> システム・リアルタイム・メッセージのストップ・メッセージを送信します。
	<b>Control Change #</b> [0...127]	送信するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。 Assign Type を“CC”に設定した場合に設定します。
	<b>Note #</b> [C-1...G9]	送信するノート・ナンバーを設定します。 Assign Type を“Note”に設定した場合に設定します。
	<b>MIDI Channel</b> [1...16/Global]	メッセージを送信するMIDIチャンネルを設定します。 Global に設定した場合は、グローバル・パラメーターで設定されたGlobal MIDI Channelに送信します。
	<b>Off Value / Off Velocity</b> [0...127]	ボタンをオフにしたときに送信するコントロール・チェンジの値、またはノート・オフ・ベロシティを設定します。 Assign Type が“CC”または“Note”のときのみ設定可能です。
	<b>On Value / On Velocity</b> [0...127]	ボタンをオンにしたときに送信するコントロール・チェンジの値、またはノート・オン・ベロシティを設定します。 Assign Type が“CC”または“Note”のときのみ設定可能です。

	<b>Button Behavior</b> <b>[Momentary / Toggle]</b>	ボタンの動作を設定します。 <b>Momentary</b> 押したときに On Value/On Velocity を、離れたときに Off Value/Off Velocity を送信します。 <b>Toggle</b> 押すたびに On Value/On Velocity と Off Value/Off Velocity を交互に送信します。
PROGRAM VOLUME / GATE TIME/SPEED SLIDER	<b>On/Off</b>	メッセージ送信のオン・オフを設定します。
	<b>Control Change #</b> <b>[0...127]</b>	送信するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。
	<b>MIDI Channel</b> <b>[1...16/Global]</b>	メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。 Global に設定した場合は、グローバル・パラメーターで設定された Global MIDI Channel に送信します。
	<b>Min Value</b> <b>[0...127]</b>	送信するコントロール・チェンジの値の最小値を設定します。
	<b>Max Value</b> <b>[0...127]</b>	送信するコントロール・チェンジの値の最大値を設定します。
Touch Pad	<b>On/Off</b>	メッセージ送信のオン・オフを設定します。
	<b>Control Change #</b> <b>[0...127]</b>	送信するコントロール・チェンジ・ナンバーを設定します。
	<b>MIDI Channel</b> <b>[1...16/Global]</b>	メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。 Global に設定した場合は、グローバル・パラメーターで設定された Global MIDI Channel に送信します。
Touch Pad Note	<b>On/Off</b>	メッセージ送信のオン・オフを設定します。
	<b>MIDI Channel</b> <b>[1...16/Global]</b>	メッセージを送信する MIDI チャンネルを設定します。 Global に設定した場合は、グローバル・パラメーターで設定された Global MIDI Channel に送信します。
	<b>Left Note #</b>	ノート・レンジ設定が“Prog”、“1oct”、“2oct”、“3oct”、“4oct”、“Full”のときの左端で送信するノート・ナンバーを設定します。(→P.17「タッチ・パッドを使ったノート・メッセージ送信」)
	<b>Note Off Velocity</b> <b>[0...127]</b>	ノート・オフ・ベロシティを設定します。
	<b>Note On Velocity</b> <b>[0...127]</b>	ノート・オン・ベロシティを設定します。

---

# ファイルの種類と内容

---

KAOSSILATOR PRO Editor で読み込み、保存できるファイル形式は以下のファイル形式です。

種類	内容	拡張子
オール・データ・ファイル	4 バンク分のループ・レコーダー・データ、プログラム・メモリー・セット、グローバル・データがまとまったデータです。	KOA
ループ・レコーダー・データ・ファイル	1 バンク分のループ・レコーダー・データです。	KOS
プログラム・メモリー・セット・ファイル	8 つのプログラム・メモリー情報がまとまったデータです。	KOP
グローバル・データ・ファイル	エクスターナル・コントロール・パラメーターとグローバル・パラメーターがまとまったデータです。	KOG

---

# 環境設定

---

Windows の場合「MIDI」メニューから「環境設定...」を、Mac OS X の場合「KAOSSILATOR PRO Editor」メニューから「環境設定...」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。



## **MIDI IN**

KAOSSILATOR PRO が接続されている MIDI IN ポートを指定します。通常、Windows の場合は「KAOSSILATOR PRO 1 PAD」を、Mac OS X の場合は「KAOSSILATOR PRO - PAD」を選択します。

## **MIDI OUT**

KAOSSILATOR PRO が接続されている MIDI OUT ポートを指定します。通常、Windows の場合は「KAOSSILATOR PRO 1 SOUND」を、Mac OS X の場合は「KAOSSILATOR PRO - SOUND」を選択します。

## **ポートを自動検出**

この設定がオンのときは、KAOSSILATOR PRO が接続されているポートを自動的に検索して設定します。オフのときは、MIDI IN/OUT ポートをそれぞれ KAOSSILATOR PRO が接続されているポートを設定してください。

## **データ送信時に警告**

オンに設定すると、KAOSSILATOR PRO ヘデータを送信するときに警告ダイアログが表示されます。

---

# メニュー

---

## KAOSSILATOR PRO Editor (Mac OS X のみ)

### KAOSSILATOR PRO Editor について

KAOSSILATOR PRO Editor のバージョン情報を表示します。

### 環境設定...

環境設定ダイアログを表示します。(→P.22 「環境設定」)

### 終了

KAOSSILATOR PRO Editor を終了します。

## ファイル

### 新規作成

新しい KAOSSILATOR PRO オール・データを作成します。

### 開く

KAOSSILATOR PRO オール・データ・ファイルに保存されている KAOSSILATOR PRO オール・データを読み込みます。

### 保存

現在編集中の KAOSSILATOR PRO オール・データを KAOSSILATOR PRO オール・データ・ファイルに上書き保存します。

### 名前を付けて保存

現在編集中の KAOSSILATOR PRO オール・データに名前を付けて KAOSSILATOR PRO オール・データ・ファイルとして保存します。

### 終了 (Windows のみ)

KAOSSILATOR PRO Editor を終了します。

## 編集

### 切り取り

選択したループ・レコーダー・データ、プログラム・メモリー・データ、エクスターナル・コントロール・パラメーター

をカットします。

## コピー

選択したループ・レコーダー・データ、プログラム・メモリー・データ、エクスターナル・コントロール・パラメーターをコピーします。

## 貼り付け

コピーした内容を、選択しているループ・レコーダー・データ、プログラム・メモリー・データ、エクスターナル・コントロール・パラメーターに貼り付けます。

## クリア

選択したループ・レコーダー・データ、プログラム・メモリー・データ、エクスターナル・コントロール・パラメーターをクリアします。

## MIDI

### 全データを KAOSSILATOR PRO から受信

KAOSSILATOR PRO 本体から KAOSSILATOR PRO オール・データを受信します。

### 全データを KAOSSILATOR PRO へ送信

現在編集中の KAOSSILATOR PRO オール・データを KAOSSILATOR PRO 本体に送信します。

- ▲ 送信したループ・レコーダー・データは、KAOSSILATOR PRO で保存をせずに電源をオフにすると消えてしまいます。送信した内容を残しておきたいときは、KAOSSILATOR PRO 本体を操作してループ・レコーダー・データを SD カードに保存してください。

### 環境設定 (Windows のみ)

環境設定ダイアログを表示します。(→P.22 「環境設定」)

## ヘルプ (Windows のみ)

### バージョン情報

KAOSSILATOR PRO Editor のバージョン情報を表示します。

# トラブル・シューティング

## 起動できない

- お使いのコンピューターが、動作環境を満たしているか確認してください。
- 他のアプリケーションが起動していないか確認してください。他のアプリケーションが起動していると、起動に失敗したり転送に失敗することがあります。失敗したときは、他のアプリケーションをすべて終了させて、再度動作を確認してください。

## 転送に失敗する

- 接続したコンピューターに、KAOSSILATOR PRO が認識されていることを確認してください。  
Windows XP の場合は、コントロール パネルの「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」→「サウンドとオーディオ デバイス」の「ハードウェア」タブ・ページで確認してください。  
Windows Vista/7 の場合は、コントロール パネルの「ハードウェアとサウンド」→「デバイス マネージャー」の「サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー」で確認してください。  
Mac OS X の場合は、「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio MIDI 設定」を起動し、Mac OS X 10.5 以前の場合は「MIDI 装置」タブで、Mac OS X 10.6 以降の場合は「ウィンドウ」メニューから「MIDI ウィンドウを表示」を選択して開く「MIDI スタジオ」ウィンドウで確認してください。
- 最新の KORG USB-MIDI Driver が、インストールされていることを確認してください。最新の KORG USB-MIDI Driver はコルグ・ホームページからダウンロードできます。(http://www.korg.co.jp)
- 手動で MIDI ポートを設定しているときは、MIDI ポートの設定が間違っていないか確認してください。
- KAOSSILATOR PRO の MIDI フィルター「SYS.E」（システム・エクスクルーシブ）が「EnA」（有効、フィルターしない）に設定されているか確認してください。

## WAV ファイル、AIFF ファイルが読み込めない

- WAV ファイル、AIFF ファイルが、KAOSSILATOR PRO Editor が読み込み可能なフォーマットか確認してください。  
読み込み可能な WAV、AIFF ファイルは、44.1/48kHz、8/16/24bit リニア PCM の Mono/Stereo 形式です。

## 音が鳴らない

お使いのオーディオ・インターフェースが動作環境を満たしているか確認してください。

## 設定したスケール、キー、ノート・レンジがロードされない

- KAOSSILATOR PRO のファンクション設定で、UTILITY の「PrLd」が「ALL.P」に設定されているか確認してください。